

6月に開催された第23回全日本アドバイザー連合会総会・中四国大会総会は、広島県・小川元史県民生活部長様、福山市・杉野昌平副市長様、福山市議会・早川佳行議長様、広島県民会議・江種則貴副会長様のご臨席を得て開催されました。広島アド連のみなさまのご尽力に感謝です。研究集会の記念講演では、全日本アド連顧問 山本邦彦氏が「育成運動の課題と将来展望」～全日本アド連の現状と今後の運動方向～と題して熱き思いを語られました。その内容を掲載いたします。



～全日本アド連の現状と今後の運動方向～

1 青少年育成の基本目標

- ① 青少年が次代の日本をになうものとしての誇りと責任とを自覚し、その輝かしい未来を自らひらき希望に満ちて生きよう。(伸びよう)
- ② 親や青少年を指導する立場にあるものはもちろん一般国民がその姿勢を正すとともに、青少年問題についての関心を高め、積極的に青少年の育成につとめよう。(伸ばそう)
- ③ 政府および公共団体の青少年施策の強化を求めると同時に、これに協力して十分にその効果をあげよう

2 令和元年度の全日本アド連重点運動方針

青少年問題の現状と課題を踏まえ、社会の一員としての自覚を高め、逞しく生き抜く力を身に付けた青少年を育成する為、次の4つを重点方針と定め実践に努める。

- ① 組織の実態を把握し、強化して、情報を共有し、実践力を高める。
- ② 「子どもが伸びるチャンスを活かす」運動の奨励・推進を行い、力強く実践する。
- ③ 各都道府県・市町村民会議などの青少年育成運動に参画し、その活性化を図る。
- ④ 青少年健全育成基本法の制定運動を強化し、関係諸団体との連携を図る。

3 アド運動躍進のために

新たな挑戦

～常に自らに問い続けよ!! このままで良いか?と～

- ① 自分を磨こう～自ら学習・実践を積み重ねて～
私は修行僧に・・人生とは、自分を磨く旅である(邦道)
- ② 地域の青少年育成運動に目を向けよう
自ら進んで身近なところから参画しよう・・(団体・自治会・学校)参画しながら、青少年に出番を創る家庭・地域づくりを
- ③ 社会問題・行政や国の施策に関心を持とう
青少年健全育成基本法の制定要望ほか
- ④ 情報の交流・活用をせよ
情報は人間の血液・組織を動かす血液である。友愛と信頼を生み、同志を団結させる力になる
- ⑤ 率先垂範 ～やってみせ、言って聞かせて、させてみて、褒めてやらねば人は動かじ～
・・・来た時よりも美しく・・・ご清聴に感謝

本年度、全日本アドバイザーに認定された
山本 達哉 さん をご紹介いたします



はじめまして、このたび青少年育成アドバイザーとして仲間に加わりました山本達哉(やまもとたつや)と申します。三朝町教育委員会事務局の社会教育課に勤務しております。自分の向学のために受講して認定をいただきました。

子どもたちとのかかわりとしては、三朝町のサッカースポーツ少年団の指導を20代のころから約20年続けております。ですので、夏から秋にかけてはこんがり日に焼けて真っ黒になっております。

「青少年育成アドバイザー」というと、ほとんど専門的な知識を持たない私にとっては正直偉そうな肩書だと思っています。アドバイザーというよりも、まずは「サポーター」となって子どもたちを支援していきたいと思っています。そして私自身も人として成長できればと思っています。

先輩アドバイザーの皆様にはいろいろとご迷惑をおかけすることが多々あるかと思いますが、ご指導のほどよろしく願いいたします。



令和元年度

鳥取県青少年育成アドバイザー養成講習会・入門コース が開催されました。

令和元年9月21日(土)、倉吉体育文化会館において県の補助事業(トトリズム推進補助事業)の補助を得て執り行われました。鳥アド念願の養成講座です。



来賓には、鳥取県中部総合事務所 吉川 寿明所長様、鳥取県教育委員会社会教育課社会担当係 中本 祐二係長様、青少年育成鳥取県民会議 馬屋原 威事務局長様の3名の方々にお越しいただき、吉川寿明所長様の来賓挨拶では励ましの言葉を頂戴しました。講義は、鳥アドメンバー6名の講師による充実した内容で、県内15名の方々が熱心に受講されました。



【 講義内容 】

①「青少年運動の必要性」

全日本青少年育成アドバイザー連合会 前会長 山本 邦彦 氏

②「青少年育成アドバイザーの役割」

元小学校校長
西上 洋治 氏

③「青少年育成について」

三徳山 皆成院住職
清水 成真 氏

④「青少年の発達段階と思春期の特徴」

助産師・思春期保健相談士
芳村 恵子 氏

⑤「青少年の相談(カウンセリング)の在り方」

ぶろじえくとえん(子育て支援)代表
西浦 公子 氏

⑥「少年院の子ども達と出会う」

美保学園 篤志面接委員
万木 秋弘 氏



講習会終了後、受講生13名(途中退席2名)の方々に頂いたアンケートの結果は次のとおりです。

- 開催時期については、「9月でOK」あるいは「10～12月」とほぼこの時期でよかったようです。
- 講義内容は「とても参考になった」と好評でした。特に参考になった、と答えられたのは「青少年の相談のあり方」、次いで「発達段階と思春期の特徴」と実践的な内容が求められているようでした。
一方、今後希望されている講義や演習は、「カウンセラーの心得」「自己肯定感を育む取り組み」「アドバイザーのキーワード共有」などが挙げられていました。
- 運営全般については、「よかった」が多く、改善すべき点として「もう少しゆっくり」「中身が濃く詰めこみすぎ感あり」と、かなり充実しすぎた一日に感じられたようです。講師6名、プロぞろいでしたから・・・。
また、「資料代と弁当代を分けてほしい」というご意見もいただきました。お弁当持参の方もおられたようです。
- 鳥取県青少年育成アドバイザー協議会の入会については、「ぜひ入会したい方」が1名。「入会してもよい」と考えられている方が4名と仲間が増えそうでうれしい結果です。
- 全日本青少年育成アドバイザー養成講座の受講については、「講座を受ける気はない」がほとんどで「検討したい」は3名とやや消極的な結果となりました。

養成講座開催にあたり、県との交渉から企画・来賓依頼、はたまたお弁当の手配までご尽力くださった新川事務局長、そして西浦会長ほんとうにおつかれさまでした。次号ではご苦労話などたっぷりお聞かせください。



受講生のひとり、新さんに、気合いの入った感想を寄せていただきました。ありがとうございます。

「令和元年度 鳥取県青少年アドバイザー
養成講座に参加して」

ホエホエ隊(おやじの会)お世話係
新 勝彦

平成31年2月10日新川さんから、「ホエホエ隊の活動を研修会で喋って」とお願いされて、いつもの調子でしゃべった(吠えた)のがきっかけで、今回の養成講座に参加させていただきました。

過去2回の研修会同様、山本邦彦顧問の熱い熱い話にこちら、「負けないパワーで聞かぞ!!」とばかり聞かせていただきました。本当に私も普段思っているような、青少年育成運動(活動)が大切なことが思いを共有できる方が、同じ中部地区にいらっしゃることに、こちらのほうがワクワクしてきます。

次の講演は、西上さんの「青少年育成アドバイザーの役割」と題して、西上さんが、今現在実践していらっしゃることの発表でしたが、私もたくさん参考になる事がありました。

「笑顔」「幸せな気持ち」「気づく感性」「できることを思考」「実行する意欲」。本当に参考になり、今の私の現状と照らし合わせて、気づかせいただきましたし、何か似たような感性で活動しておられるようで、私自身を肯定していただいたような錯覚さえ覚えました。どの方のお話も、実践を伴われていますので、私の心に響きました。是非今回の養成講座で頂いた、「子ども若者と共に」を青少年育成のバイブル書として活用させていただきます。これからもよろしくお願ひします。



ほんわり ほっこり
きよめさんの一筆をどうぞ!

~つれづれなるままに~

井上 廉女

皆さんのまちにも教育改革の波が押し寄せていますか?

私の住む小さなまち江府町も今、新庁舎建設、学校再編、コミュニティスクールの推進、図書館リニューアルなど、大きく生まれ変わろうとしています。子どもたちがこのふるさとに生まれ育ってよかった!と言えるよう、地域を挙げてみんなでよい方向に進めていきたいです。

時は流れ鳥アドも新体制へ。山本顧問、鳥アドと全日本の会長、本当に長年お疲れさまでした。たくさんのお教をありがとうございます。念願のアド養成講座も無事終了。新しい仲間のみなさん、一緒に活動していきたいよ。

最近ちょっとうれしかったことは、我が町からも1名養成講座に参加、どの講座もよかったと言ってもらえました。私ごとでは、夏に2年かけて夫と北海道一周の旅を完走! 海岸沿いに車を走らせ岬や半島をぐるっと巡ってきました。北海道では「青少年を守り育てよう」という趣旨の標柱や通学路の交差点等で見守りの姿がよく見られ、育成運動が根づいている地だなと実感しました。

さて、やはり還暦は人生の節目、身近な生老病死に向き合うことがふえ、自分がこれからどう生きるかを考えます。未来を担う地域の子どものためにも、今私にできることを続けていこうと思っています。ささやかな旅をこれからも楽しみながら。

~編集後記~

全日本研究集会での山本顧問の記念講演は、山本五十六の名言で締めくくられていました。そういえば、子育て真っ最中の頃「やってみせ〜〜〜褒めてやらねば子どもは育たじ..だな」とこの名言に共感したものでした。し、しかし...、最大の難関「やってみせ」が欠如し、「言ってみせて」ばかりになってしまうダメ親でした...。「やってみせる」ハードルは高くなくていいんだ...、普通のことを、普通の生活を。おはように始まって、ありがとうが気持ちよく言える、など...自分レベルの五十六名言でもう一度子育てを...? いやいや、もうそんな元気ないですねえ...